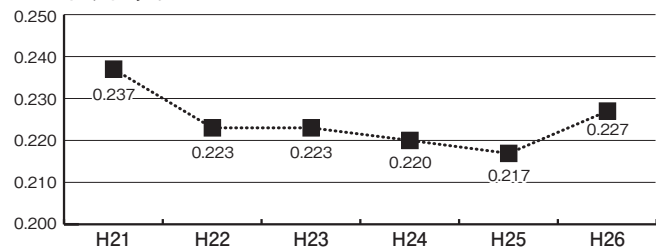


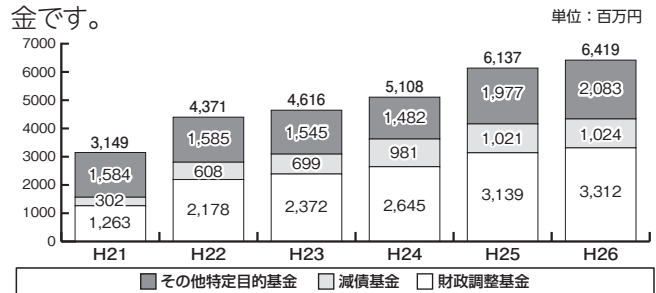
■財政力指数の状況

財政力指数とは、町の財政力、体力を示す指標で、標準的な行政運営に必要な経費を、どれだけ自前(町民税など)で調達できているかを示すものです。数値が「1.00」以上であれば、100%自分たちのお金で町の運営ができることを示します。日高川町の場合、4分の1程度の経費を自前で賄い、その他は国、県などに依存しているということになります。



■基金の状況

基金は、まちづくりのために貯めたお金のことで、代表的なものに財政調整基金、減債基金があります。財政調整基金とは、経済不況などによる大幅な税収減や災害の発生などによる思わぬ支出の増加に備えて、剰余金などを積立てておく基金で、減債基金とは借金返済のための基金です。



■健全化判断比率及び資金不足比率について

平成19年6月に成立した「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、地方公共団体は毎年、「健全化判断比率」と「資金不足比率」を公表することになりました。比率が1つでも基準値以上となった場合は、健全化に向けた様々な取り組み(健全化計画の策定、外部監査等)が、法律で義務付けられています。平成26年度決算に基づき算定された日高川町の健全化判断比率及び資金不足比率は、次のとおりで、すべて基準値を下回っています。実質公債費比率が高い数値を示していますが、建設事業に係る地方債の発行額を抑制するなど、公債費負担の適正化に取り組んだ結果、平成19年度の23.9%をピークとして減少し23年度におきましては起債が制限される18%を下回っています。

■健全化判断比率 (%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率(3カ年平均)	将来負担比率
日高川町	-	-	15.9	58.2
早期健全化基準	(14.45)	(19.45)	(25.00)	(350.00)
財政再生基準	(20.00)	(30.00)	(35.00)	-

※()内は、早期健全化基準及び財政再生基準 ※実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合は「-」表示

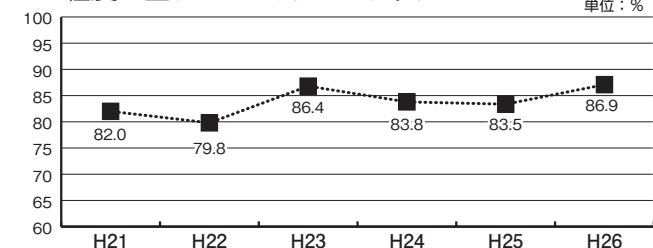
■資金不足比率 (%)

特別会計の名称	資金不足比率	備考
簡易水道事業特別会計	-	経営健全化基準20%
下水道事業特別会計	-	経営健全化基準20%

※資金不足額がない場合は「-」表示

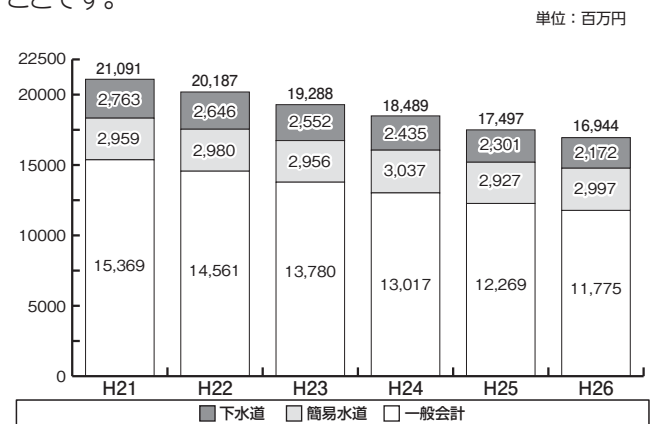
■経常収支比率の状況

経常収支比率とは、町の財政の弾力性、お金の使いみちの自由度を表す指標で、毎年常に必要な費用(人件費、扶助費、公債費など)に対して、毎年常に入ってくるお金(町税、普通交付税など)でどれだけまかなえているかを見る比率です。比率が低いほど、自由に使えるお金も多いため、柔軟で弾力的な財政運営ができます。一般的に75%程度が望ましいとされています。



■地方債残高の状況

地方債は、いろいろな施設整備のために借りたお金のことで、



■平成26年度 一般会計・特別会計決算額

一般会計は、町の中心となる会計で、基本的な行政運営経費を管理する会計です。特別会計は、特定の事業の歳入・歳出を一般会計と区別して個別に管理する会計です。各会計ごとの決算状況は、下表のとおりです。

会計	歳入	歳出	差引
一般会計	107億7,974万5千円	105億2,719万4千円	2億5,255万1千円
特別会計			
笠松農業用水及び公共用水管理運営	445万2千円	445万2千円	0円
国民健康保険事業	14億4,008万1千円	14億3,409万9千円	598万2千円
国民健康保険事業川上診療所	9,398万9千円	9,398万9千円	0円
国民健康保険事業寒川診療所	6,992万1千円	6,992万1千円	0円
後期高齢者医療	2億5,141万7千円	2億4,997万5千円	144万2千円
介護保険事業	12億5,705万7千円	12億4,799万1千円	906万6千円
簡易水道事業	6億8,894万8千円	6億8,404万3千円	490万5千円
下水道事業	2億7,546万1千円	2億7,546万1千円	0千円
川上財産区	22万2千円	17万9千円	4万3千円
寒川財産区	46万2千円	46万2千円	0円
合計	148億6,175万5千円	145億8,776万6千円	2億7,398万9千円

平成26年度に取り組んだ主な事業

■定住と交流の基盤が整ったまちづくり

- 地域おこし協力隊等関係事業……………215万円
- 若者定住促進住宅建設事業……………5,048万円
- Wi-Fi環境整備機器設置事業……………422万円
- 住宅リフォーム工事補助事業……………224万円
- コミュニティバス運行事業(地域公共交通活性化協議会)……………2,901万円

■豊かな心を育む教育・文化のまちづくり

- 外国語助手(ALT)の配置……………736万円
- 南山スポーツ公園陸上競技場改修事業…5億9,720万円
- スクールバス運行事業……………3,434万円
- 国体関係事業費……………9,017万円
- スポーツ活動助成事業……………349万円

■自然と共生する快適・安全なまちづくり

- カーブミラーの設置・修繕事業……………199万円
- 美山療養温泉館薪ストーブ設置……………223万円
- 合併浄化槽設置補助……………1,195万円
- 観光トイレ整備事業……………3,086万円
- 空き家解体処理費補助事業……………194万円

■活力に満ちた元気産業のまちづくり

- 有害鳥獣捕獲、被害防止対策事業……………2,556万円
- 大星地区パイプライン整備事業……………2,591万円
- 林道開設改良事業……………5,534万円
- 町道新設改良事業……………5億4,667万円
- 新規就農総合支援事業補助金……………1,725万円

■だれもが元気になる健康・福祉のまちづくり

- かわべ保育所保育室改修工事……………432万円
- 子育て世帯臨時特別給付金……………1,191万円
- 各種健診、予防接種など保健事業……………4,819万円
- 学童クラブ運行事業……………825万円
- 高齢者見守りシステム使用料……………162万円



用語解説

●**実質赤字比率**…そのまちの中心となる会計である一般会計等の実質的な赤字の割合を指標化したもの
●**実質公債費比率**…毎年安定して入ってくる収入が、借入金の返済にどれだけ使われているかを示す指標で、高いほど返済にまわすお金が多いということになります。

●**資金不足比率**…簡易水道、下水道事業など公営企業の資金不足を、料金収入の規模と比較して指標化したもの
●**連結実質赤字比率**…そのまちの全ての会計の実質的な赤字の割合を示したもの
●**将来負担比率**…一般会計の借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の、現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すもの

■お問合せ 総務課 ☎22-1700